

守山市 発達支援センターだより

令和2年3月号（令和2年3月15日発行）

守山市発達支援センター（発達支援課）

守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内

Tel : 077-582-1158 Fax : 077-581-1628

子育て講演会を開催しました

- ・テーマ：子どもの「生きる力」を育てるために
- ・日時：令和2年2月15日（土）午後1時30分から午後4時まで
- ・場所：守山市民ホール 大ホール
- ・講師：白梅学園大学大学院 特任教授 無藤 隆 氏

滋賀医科大学 小児科学講座 特任准教授 阪上 由子 氏



無藤先生には、幼児期に育ててほしい姿や大人の関わり方などを写真を交えてわかりやすく講演していただきました。後半は阪上先生にもご登壇いただき、「ネット時代の子育ての良いところ、悪いところ」と題したテーマで、子どものすこやかな心と体の発達のために大切にしてほしいことなどをお話ししていただきました。

参加者は232名で、市民一般の方から行政関係者や医療・教育・福祉分野などの専門的分野の方まで、幅広い方々に聞いていただける内容であり、とても有意義な時間となりました。保護者だけでなく子どもに関わる誰もが、それぞれの立場で「何を大切にすべきか」や「子どもとどのように関わっていくのか」などを考えるよい機会になったと思います。今後も、子どものすこやかな成長のために、このような機会を継続していくことが大切であると感じました。

校 園 へ の お 知 ら せ

発達支援課主催で発達相談、医療受診、訪問相談などの発達支援センターで実施している事業説明および各事業所の手続き方法などについて研修会（説明会）を行います。

開催日は令和2年4月下旬を予定しています。詳しい日時・場所等は令和2年度当初に各校園に別途通知いたします。

年度当初のお忙しい時期ですが、特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担当の先生方など、たくさんの参加をお待ちしております。



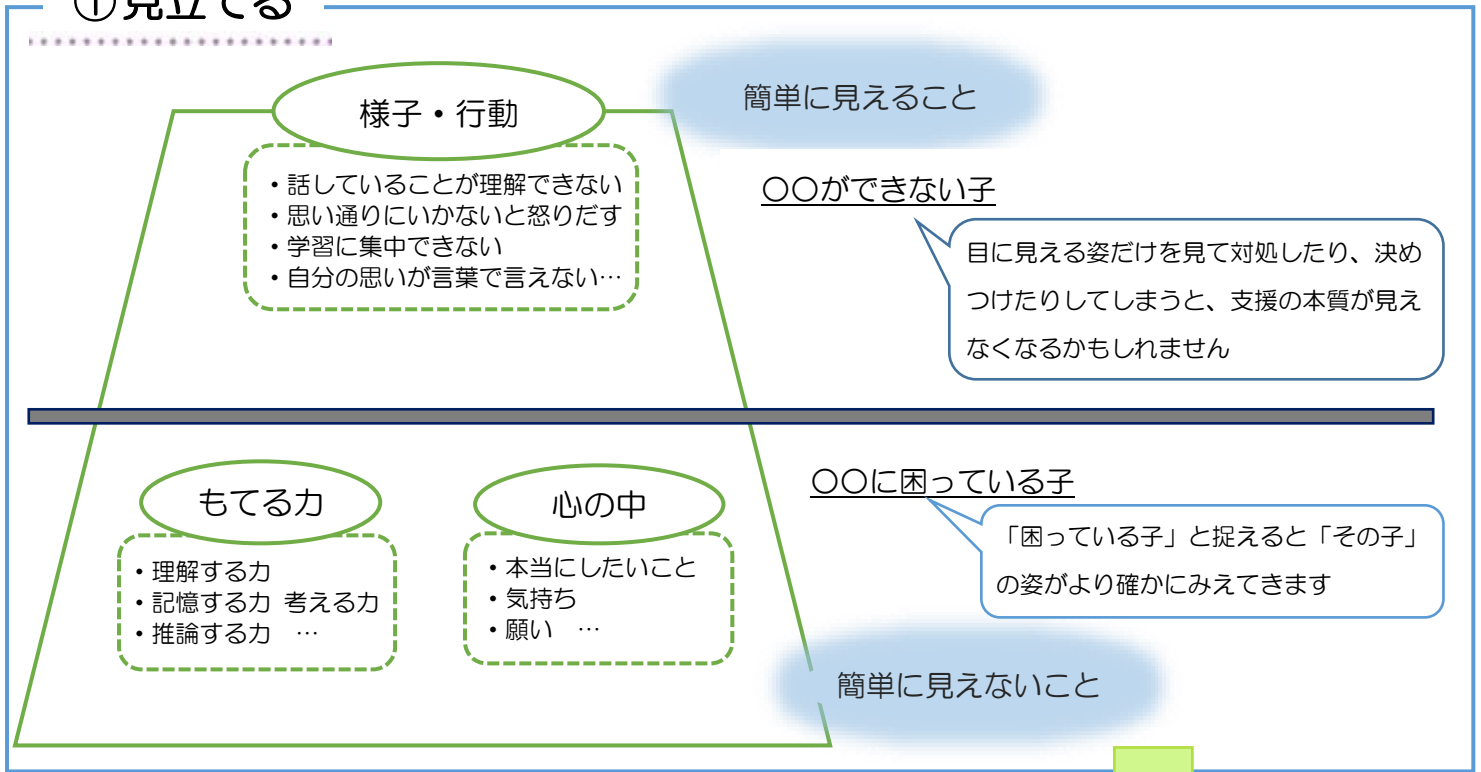
「〇〇ができない子」への支援について

「〇〇ができない子」への日々の支援を今一度振り返ってみませんか。

支援の流れの一例を紹介します。目の前の「その子」への支援と重ね合わせてみてください。

「ここは確かめている」「これは考えていない」「ここはわかりにくいなあ」…が見えてくるかもしれません。

①見立てる



③目標をたてる

実現可能なことを具体的に

本人の思い、保護者の思いもおりませます。

②背景を考える

なぜそうなるのだろうか

「できない」には理由があります。意味があります。それを考えるとは「その子」を理解することでもあります。

自分の考え、他の先生からのアドバイス、書籍、研修からの情報…ヒントは求めれば見つかります

①見立てる

④手立てを考える

手立ては「合理的配慮」とも言えます

⑤支援・振り返り

手立ては「その子」にとってどうだっただろうか

先生自身の自己評価です

💡 「その子」について考えることは、「その子」を理解することです
「〇〇ができない子」は自分を理解してくれる人を求めています